

自校採点結果を基に、早期にPDCAを回すには・・・

本日付で、各市町村教育委員会に「自校採点結果」とともに「分析支援ツール」を配付しました。学校に到着後、直ちに本ツールを用いて、自校の課題の明確化を図りましょう。その際、問題冊子と見比べながら、自校の児童生徒が「どのように」「どこで」「なぜ」間違えたのかを把握した上で、全教職員へ共通理解を図ることが重要となります。

その上で、まずは日々の授業をどのように改善すべきか、放課後学習サポート等の活用や家庭学習へどのように取り組ませていくかなどを、管理職と相談しながら、出来るだけ早く学校全体で徹底して取り組んでいくことが、つまずきの早期解決につながる重要なポイントになります。

学校名(正式名称)		入力方
〇〇市立〇〇中学校		①市(町) ②各学校
国語A		

①各市町村教育委員会から各学校の結果が返却されます。

算数A									
内 容 の 差	算計人数	平均正答率(暫定)				無解答率(暫定)			
		自校	県	県平均との差		自校	県	県平均との差	
				-10	0 +10			-5	0 +5
-0.2	H28全国学力調査 (H28.4時点 小学校第5学年)	***	***	-3.2	1.4	1.1	-0.3		
-0.2	H27たしかめテスト (H27.11時点 小学校第5学年)	***	***	-3.7	4.4	3.9	-0.5		
-1.9	[1] □÷0.8の商のふまきについて、正しいものを選ぶ	***	***	-3.7	2.1	0.8	-1.3		
0.3	[2] △÷0.7を、除数が整数になるように工夫して計算すること、ふさわしい数量の組み合わせを書く	***	***	-8.3	0.0	0.4	0.4		
0.0	[3] 小数の除法の筆算を、幾何を利用して確かめるとき、当てはまる数量の組み合わせを書く	***	***	7.7	0.0	0.8	0.8		

②国語A、算数(数学)A、国語B、算数(数学)Bの自校採点と県平均が数値とともに、棒グラフで表されます。

※県平均を上回った場合は、右側へ青色の帯が、下回った場合は左側へ赤色の帯が伸びます。

自校の結果を基に

現状・課題の把握

- どのように間違えたのか？
- どこで間違えたのか？
- なぜ間違えたのか？

解決策の提案

- 授業をどのように改善すべきか？
- 補充学習(朝・放課後)や家庭学習で何に取り組むべきか？
- 資料等を効果的に活用するためには？
「岡山型学習指導のスタンダード」や
「家庭学習のスタンダード」等の資料活用を徹底

学力向上担当の皆さん、出番です！！

- 現状・課題を把握します。
- 全教職員で**徹底して取り組む解決策**を管理職と相談して**提案**します。



岡山県マスコット
「ももち」

分析支援ツールを活用する時に大切にしたい視点

その1

		自校	県	
(4)	(2/9) × 3を計算する	80.2	86.7	-6.4

県平均より6.4点も低い・・・。
5年生の復習に早期に取り
組まないと・・・。

- ▶▶ 県平均と自校の結果を比較することで、自校の児童生徒の弱点を把握する相対的な数値として捉えることができ、課題を明確にすることができます。

その2

		自校	県	
(1)	ある数を3でわると、商がaで余りが2になるとき、ある数をaを用いた式で表す	33.3	30.5	2.9

県平均より2.9点高くて、
よく頑張ったな。

- ▶▶ 相対的な数値で見た場合は、確かに県平均を上回っていることから、よく頑張ったと捉えることもできますが、一方で70%近い生徒が間違えている事実が残っています。
生徒に定着を図るために取り組ませないといけないことは何でしょうか。

※ 次号は、改めて考えたい「学習指導のスタンダードに基づいた授業づくり」について6月中旬にお知らせします。